



ふれあう 活動と研修

昭和61年度
の
行事から

コミュニティ宿泊交流集会

徳山市内各地域のコミュニティ関係者（久米地域2名参加）による宿泊交流集会が、12月6日（土）と7日（日）の2日間、湯野荘を会場として開催されました。はじめに、“あすのコミュニティを考える”の基調講演があり、そのあと、地域福祉部会・青少年の健全育成部会・特産品づくり部会のそれぞれで、具体的なコミュニティのすすめ方の各論づくりが話し合われました。

参加者から、地域をつくることは地域の人々、実情をよく知り自分でできることを足を運んですることが本当のコミュニティであるの声でした。



昭和60年徳山市制50周年記念として久米地区では記念植樹をしました。△場所 久米小学校敷地内▽

コミュニティを学ぶ

コミュニティという語は、1969年（昭和44年）に国民生活審議会調査部会報告書に用いられたのがはじめです。

社会集団の二大類型としてのコミュニティとアソシエーションの語があります。

コミュニティは、古くから人間が生存のため

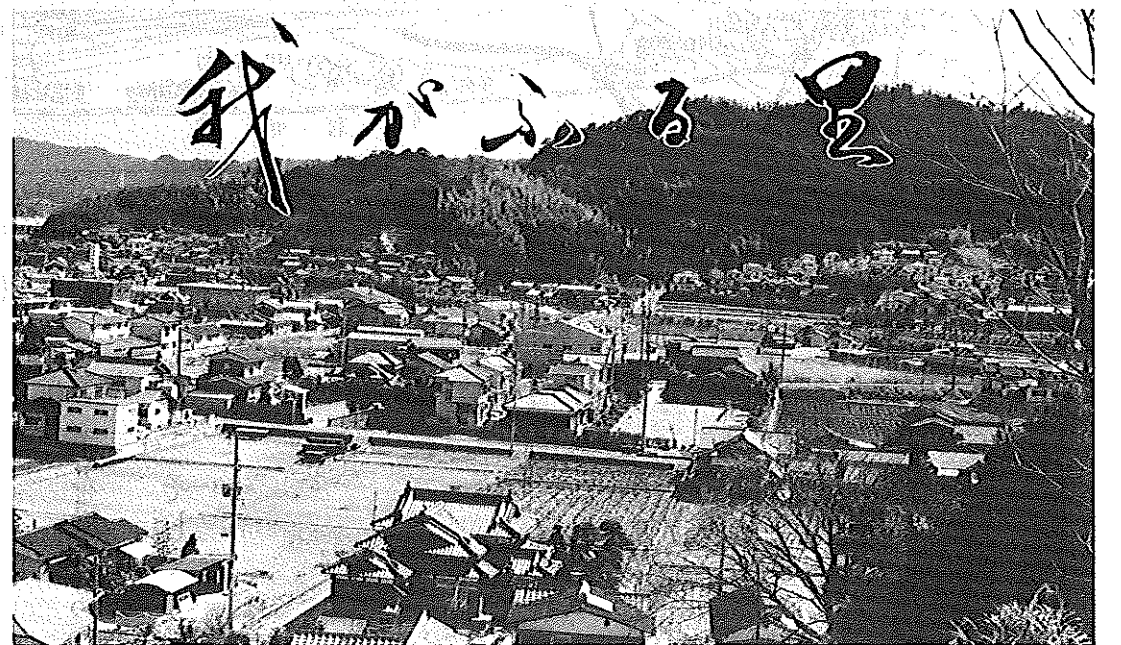
に形成してきた社会の集団で、あらゆる社会的な機能がととのっている地域で村や都市をいいます。アソシエーションは、特定の社会の機能を分担するために人為的に形成された企業、組合、学校、病院のよう、コミュニティを基盤にしてできつつある集団のことをいいます。

（社会学者 マッキーバの説）

コミュニティ くめ

手をつなぐ
伸びゆく我がまち
我が郷土

〈第6号〉
昭和62年3月25日発行
久米地区コミュニティ推進協議会
事務局：久米公民館内



〈ふれあうまち〉 平井・新平井・蔵光・田中東 (次号は他地域)

ごあいさつとご支援のお願い

コミュニティ推進協議会会長 林 和美

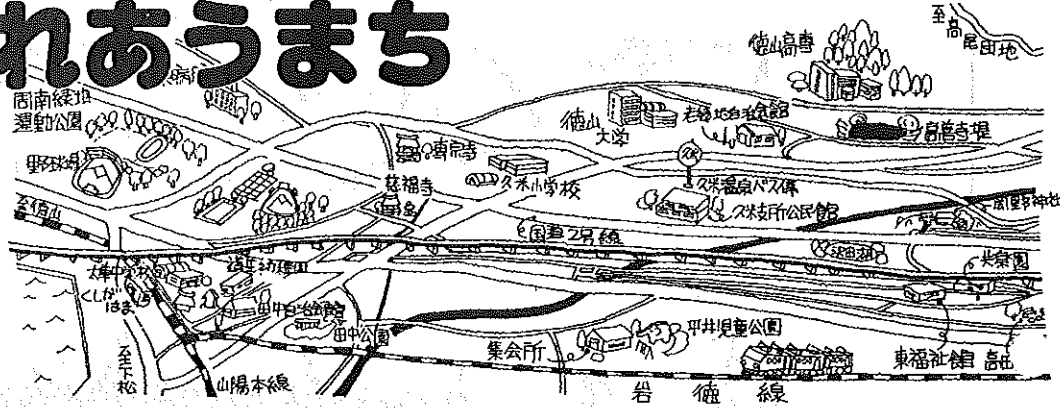
久し振りの久米地区体育大会は、絶好の小春日和に恵まれ、お年寄りから幼児まで大勢の方のご参加ご声援をいただき、おかげ様で盛会裡に終わりました。

ご協力いただきました体育振興会、自治会、婦人会、寿会及びスポーツ少年団等関係諸団体の皆様に心から厚く御礼を申し上げます。

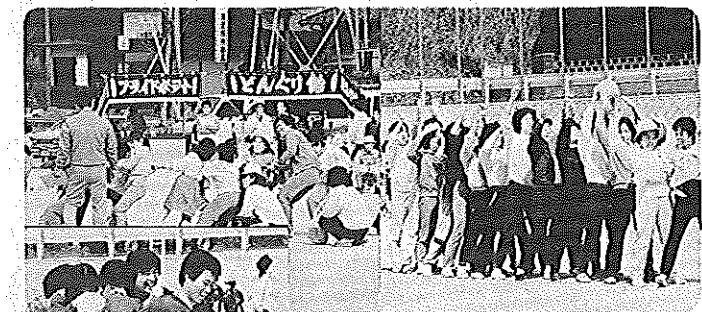
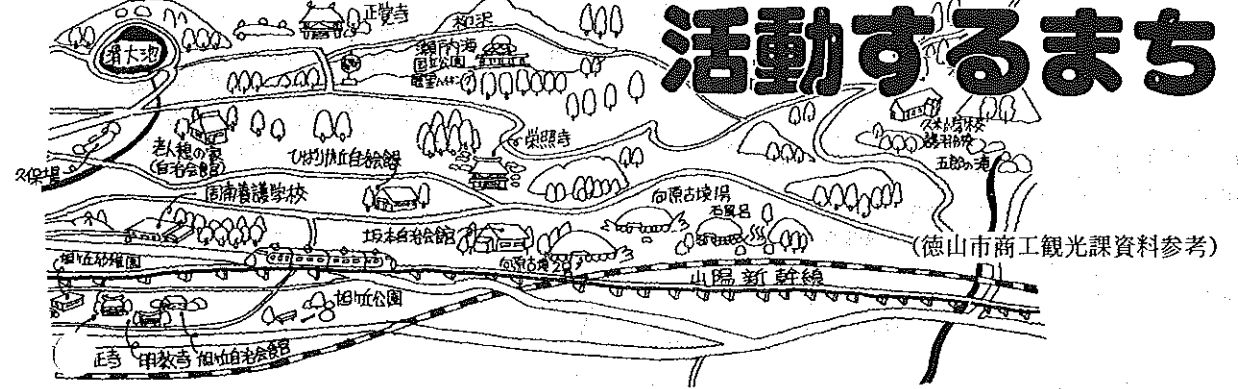
昭和61年度も体育大会のイベントをもって終り、新しい年度に入りました。この一年間コミュニティ推進活動にお寄せいただきました皆様のご理解ご協力を衷心より感謝申し上げます。「あたたかいふるさとづくり」の運動を進めていく上で大切なことは、そこに住む人びとがその地域にどれだけ愛着をもってかかわっているかということではないでしょうか。

久米地区コミュニティ推進協議会としては、「あたたかい心のふれあう住みよいまちづくり」のために、あせらず地道に活動を進めたいと思いますのでこれからもよろしくご支援ご協力をお願い申し上げます。

ふれあいまち



活動するまち



▲力を合わせイチノニノサン



▲体育大会の花地区対抗リレー



▲閉会式

ふれあう 第16回
3月22日(日)

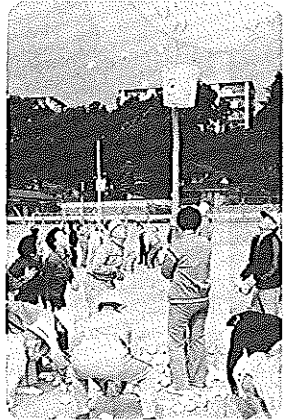
手を取りあつての演技と競技
そして、語りあい連帯する
楽しい一日でした



▲市民ばやして広がる輪

久米地区体育大会
久米小学校校庭

久米地域の幼児から
老人までの住民が
このふれあいの場で



▲開会式

▲老いも若さも力いっぱい!



▲(団体) 婦人会・寿会・各種団体



▲食べ物オンパレード